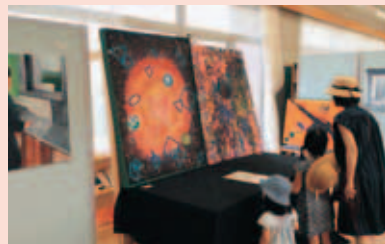


Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



西脇市美術協会の藤原廣幸さんが指導する「高田井町子ども絵画教室」に78人の子どもたちが参加（8月1日、高田井町健康福祉センター）



西脇南中学校美術部展が開催され、1～3年生29人の作品およそ80点を展示（8月7日～9日、西脇南中学校2階オープンスペース）



山口市で開催されたボーイスカウトらのキャンプ大会「世界スカウトジャンボリー」に参加した西脇第2団の5人が片山市長を訪問し活動を報告（8月10日、西脇市役所）



市役所2階の郷土作家ギャラリーで西脇市美術協会「竹内晴行写真展」を開催。作品15点を展示（9月30日まで、西脇市役所2階）

46年ぶり県予選ベスト4の快挙—西脇高校野球部

〔7月28日 明石トーカ球場〕



準決勝の試合開始前に円陣を組む選手たち

第97回全国高校野球選手権兵庫大会で、西脇高校が初の決勝進出をかけて滝川第二高校と対戦。試合は西脇高校が先制したものの逆転を許し、惜しくも2対1で敗れました。野球部を応援するため多くの市民がスタンドを埋め尽くし、必死にプレーする選手と一体となって声援を送り続けました。

将来を担う子どもたちが西脇の未来を議論

〔8月18日 西脇市議会〕



議長・副議長を除く14人の中学生議員が一般質問を実施

中学生による「子ども議会」が市制10周年記念事業として開催されました。市内4中学校から16人の生徒が議員として参加。市政や地域の課題等について「一般質問」し、市長や教育長が答弁をしました。また、「西脇市子ども議会宣言」を可決。住みよいまちを築いていくことを誓いました。

神大大学院と連携協定—西小木造校舎保存に向けて

〔7月31日 神戸大学〕



片山市長と神戸大学大学院人文学研究科の増本浩子科長

西脇市と神戸大学大学院人文学研究科は、西脇小学校木造校舎の保存改修に向けた基本計画・基本設計を行うため、連携協定を結びました。調印式で片山市長は「大学院の専門的な知識を活用し誇りあるまちを築きたい」とあいさつ。同科の増本浩子科長は「西脇市の発展に貢献したい」と応えました。



左) 脳の活性化について講演をする茂木健一郎さん
上) 長所・短所を指摘しあう高校生たち

市民会館には中学生・高校生を中心におよそ630人が来場。ユーマアといった講演に会場は笑いに包まれながらも、子どもたちは熱心に聴き入っていました。

テレビなどでおなじみの脳科学者・茂木健一郎さんをお招きして、市制10周年記念事業「茂木健一郎教育講演会」を開催しました。茂木さんは「常に新しいことに挑戦し緊張感を持つこと、自分にプレッシャーを与えることで脳を活性化する物質ドーパミンが出る。脳を活性化することは、若者にとっては学び、中高年にとってはアンチエイジング（老化予防）につながる」と話されました。また、ミラーニューロンという神経細胞にも触れ、「欠点と長所は表裏一体。他人の目を通してこそ本当の自分を知ることができるので、いろんな人に出会いましょう」と講演されました。



中学校S部門でグランプリに輝いた西脇中学校吹奏楽部（プレスジェイ株式会社提供）

市内中学校吹奏楽部が快挙

〔7月25日・26日 三木市文化会館〕

兵庫県吹奏楽コンクール第38回東播地区大会で市内の全中学校が金賞以上の成績を収める快挙を達成しました。

▼成績 西脇中学校吹奏楽部ⅡS部門グランプリ▽西脇東中学校音楽部ⅡS部門金賞▽西脇南中学校吹奏楽部ⅡA部門金賞▽黒田中学校吹奏楽部ⅡS部門金賞

続く県大会では西脇中は金賞、西脇南中は銀賞を受賞しました。



ヴィッセル神戸のスクールコーチからパスの技術指導を受ける児童ら

ヴィッセル神戸サッカー教室

〔8月9日 重春小学校〕

ヴィッセル神戸のサッカースクールコーチ4人をお招きして、市制10周年記念事業「ヴィッセル神戸サッカー教室」を開催しました。参加した児童107人はパスやドリブルの技術指導を受け、ミニゲームを通して選手として必要な心構えを教わりました。児童らはコーチからの「常にゴールを狙って」「お互いに声を掛け合おう」などの言葉に真剣に耳を傾けながらプレーしました。

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！